

半田病院だより

第188号

「半田病院だより」は、半田病院ホームページ（<https://www.handa-hosp.jp>）からご覧いただけます。



新年のご挨拶



半田病院広報部会

明けましておめでとうございます。

新年にあたり、2020年が皆様にとりまして素晴らしい年となることをご祈念申し上げます。

今年のお正月はいかがでしたでしょうか。皆様の中にはカレンダーどおり年末からお正月にかけての9連休となり、長い年末年始休暇となった方もおられる一方で、入院や救急外来のある当院のような医療機関を始めとして、休むことができない事業所で普段と変わりなく忙しく働かれた方もおみえになると思います。新年の迎え方に違いがあっても、皆様にとりまして新年が明るく希望に満ちたものであれば幸いです。2019年は元号が平成から令和にかわり、新天皇の即位に関する行事が多く執り行われました。改めて日本の伝統の素晴らしさを実感し、令和の世が、込められた意味の通りに「美しい調和」の時代となることを願わずにはられません。また昨年は、日本代表の大活躍もあり、ラグビーワールドカップで日本中が大いに盛り上がりました。しかし、残念ながらその期間中に襲った台風19号によって甚大な被害が発生しました。今年は56年ぶりに東京でオリンピックが開催されますので、明るく、活気のある、良い年になって欲しいものです。

昨年の半田病院では、新病院建設を半田運動公園東側土地で目指すことに伴って、極めて近接することになる常滑市民病院との間で「半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議」が開催され、両病院の診療分担や経営統合の形などについて、具体的に検討が行われました。



病院長 石田 義博

その結果、新半田病院の機能は現在の半田病院とは大きくは変わらず、高度急性期から急性期の医療を提供する400床強の病院とすることが確認されました。現在全国で進められている地域医療構想では、近接する公立病院間の再編や統合の検討が求められています。新半田病院と常滑市民病院の間で進められている診療および経営の統合はこの方針に沿ったものです。そして、新年度には令和7年春の開院を目指して新病院の基本設計に取り掛かる予定です。

新年を迎え、当院は知多半島医療圏における唯一の三次救急医療機関、がん診療連携拠点病院として、良質な急性期医療を提供できるよう今年も頑張りますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

ほっとけないぞ CKD

腎臓内科 医師 水谷 真

CKDとは

chronic kidney disease：慢性腎臓病のことです。1つの病気の名前ではなく、腎臓の働きが徐々に低下していく様々な腎臓病の総称をCKDと言います。原因としては、糖尿病・高血圧・慢性腎炎が代表的です。

現在日本には約1330万人のCKD患者がいます。これは成人の約8人に1人にあたり、新たな国民病とも言われています。

CKDの初期は、自覚症状がありません。貧血・疲労感・むくみなどの症状が現れた時には、病気はかなり進行している可能性があります。腎臓の働き（腎機能）の目安は、eGFR（糸球体濾過量といい、腎機能を表す指標）で分かります。

CKDを診断するための検査

- ① 尿検査
通常は陰性です。1+以上で陽性と判定します。
- ② 血液検査
クレアチニンの値から、eGFRが計算されます。

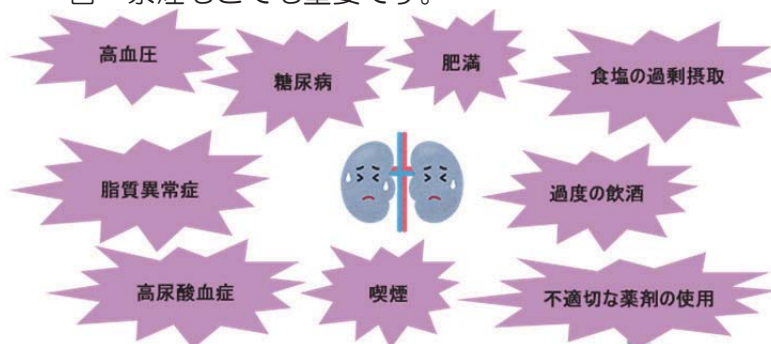


いずれか、あるいは両方が3か月以上続くと、

CKD

CKDの進行を抑えるには、どうすればいい？

CKDを悪化させる原因として、血糖の上昇、高血圧、脂質異常（コレステロールが高い）などがあります。かかりつけ医の指導を受けながら、生活習慣の改善が必要です。適度な運動・肥満の改善・禁煙もとても重要です。



CKDを放置してしまうと、知らないうちに腎機能が低下し、症状が出てきて気付いた時には、透析療法が必要となってしまうことも多々あります。



予防・早期発見のために 今から出来ること

- ① 血圧の測定
血圧は日内変動がありますが、特に夜間や早朝の高血圧は腎臓へ大きな負担となります。家庭での血圧は診療上非常に有用な情報となりますので、朝と晩に2回ずつの測定が理想的です。
- ② 減塩
発症予防のためにまず食塩量を意識してみましょう。素材の味を楽しみながら、醤油やソースはかけるのではなく付ける、香辛料・薬味を使うなどがあげられます。外食等が多い場合は、成分表示を確認してみましょう。

まずは健診を受けること。
異常が見つかり、受診を勧められたら
必ず病院へ行きましょう。

症状がなくても、CKDはほっとかないでください。
自分の腎臓は自分で守ってあげてください。

ご存じでしたか？

半田病院は脳死下での臓器提供が可能な病院です

移植コーディネーター部会 舘林 真由美

臓器移植とは、重い病気や事故などにより臓器の機能が低下した人に、他者の健康な臓器と取り替えて機能を回復させる医療です。第三者の善意による臓器の提供がなければ成り立ちません。

日本で臓器の移植を希望して待機している方は、およそ 14,000 人です。それに対して移植を受けられる方は、年間およそ 400 人です。日本での今までの脳死臓器提供は 658 例です。2018 年は脳死下での臓器提供は 68 件でしたが、2019 年は 88 件（11 月末）と増加しています。（日本臓器移植ネットワークホームページより引用）

当院では 2018 年度に続いて今年度も日本臓器移植ネットワークの臓器提供のための院内体制整事業に参加して、脳死対応セミナー参加やシミュレーション・勉強会の企画などを行っています。

患者さん、ご家族の臓器を提供したいという意思があればそれを尊重できるよう移植コーディネーター部会を設置し、愛知県知事より委嘱された院内移植コーディネーター 5 名が中心となって院内体制整備を推進しています。

＜移植コーディネーターの役割＞

1. 臓器提供システムの構築
2. 院内ポテンシャルドナーの把握
3. 臓器提供の意思確認
4. 他部門との連携
5. 院内教育・啓発・普及活動
6. 臓器提供マニュアルの整備
7. 移植学会・研修会への参加
8. 日本臓器移植ネットワーク・都道府県コーディネーターとの連携

【部会構成メンバー】

医師 3 名
 看護師 3 名
 臨床検査技師 1 名
 リハビリテーション科 1 名
 医療相談員 1 名
 事務 1 名

2019 年度 院内シミュレーションの様子
 法的脳死判定マニュアルに沿っての手順を確認しています

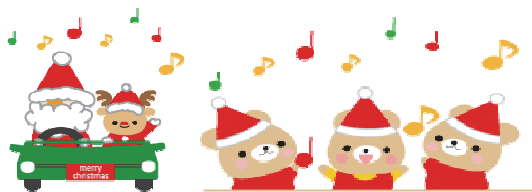


グリーンリボン

クリスマス会が行われました

看護局・緩和ケア部会

➤ 12/11(水) 3A病棟にサンタクロースがやってきた！！



➤ 3A病棟の看護師の手作り企画で、歌や工作を行いました。ハッピーサンタさんの登場もあり、子供達はプレゼントをもらい、サンタさんと記念撮影を行うなどつかの間の時間を笑顔で過ごしていました。

今年は、サンタの帽子をかぶった小児科の医師達の参加も有り、子供達にエールが送られました。子供達が一日も早く元気に退院できますように！

● 半田病院の理念 ●

私たちは、良質な医療の提供を通じて地域社会に貢献します。

● 半田病院の基本方針 ●

1. 救急・がん・災害・周産期小児医療を含む急性期医療を提供し、基幹病院の役割を果たします。
2. 安全で適切な医療を提供します。
3. 地域の医療機関や介護施設等との連携を大切に、地域完結型の医療を提供します。
4. 教育・研修病院として豊かな人間性を有する医療人を育成します。
5. 常に健全な経営を意識して、安定した医療サービスを提供します。

● 患者の権利と責任 ●

半田病院は、十分な説明と同意に基づく高い信頼関係のもとで、患者の皆さんと病院が協力して安全な医療を行うために、「患者の権利と責任」について以下のことを確認します。（各項目抜粋）

1. 良質な医療を受ける権利
2. 医療内容について知る権利
3. 治療について自分で決定する権利
4. セカンドオピニオンを求める権利
5. 患者情報が保護される権利
6. 病院内及び社会のルールを遵守し、医療に参加・協力する責任
7. 個人の尊厳が守られる（尊重される）権利
8. 診療に要する費用を負担する責任

半田市立半田病院 広報部会 (事務局 管理課)

〒475-8599 半田市東洋町2-29 / TEL (0569) 22-9881 / FAX (0569) 24-3253
Eメール byouin@city.handa.lg.jp / URL <https://www.handa-hosp.jp>

